

金曜 ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」
編集長・真鍋康利さん



え。淡い恋心がさらに淡くなったのかとちょっと心配しています。



今年の漢字が「災」に決まり、清水寺貫主が揮毫した文字が披露されました。確かに地震、台風、豪雨など自然災害が頻発しましたが、こうして文字になると、この1年を表す漢字が「災」なのは残念な気がします。

このイベントがまだ24回目だということに驚きました。が、振り返るとどちらかというとマイナスイメージの漢字が多いことにも驚きました。

スタートが1995年、阪神・淡路大震災やオウム真理教事件のあった年で「震」に始まり、97年の「倒」、98年の「毒」、99年の「末」、2001年の「戦」、07年の「偽」。04年にも「災」があります。いかがなものでしょうか。

それに対し、11年は東日本大震災の年ながら「絆」が選ばれたのはよかったですね。05年の「愛」、06年の「命」、09年の「新」、13年の「輪」も気持ちがあはれます。

「金」が2000年、12年、16年と3回も選ばれているのを見ると、金メダル獲得もあるのでしょうか、何か世知辛い気がします。



1年を振り返って漢字一文字で表現する、という催しは決して嫌いではありません。

これは清水寺が決めているのではなく、日本漢字能力検定協会が公募で決めるらしく、応募する側に気持ちの後ろ向きの方が多いということでしょう。ニュースで大きく扱われるのが事件や事故でそれが色濃く残っているからかもしれません。

知人の陶芸作家に「今年の漢字は？」と聞いたら、彼も「災」と即答しました。電動のこぎりを使っていて指がちぎれました。幸い接合できましたが指は曲がらず、しびれもあり、職業柄不自由しているところで、この「災」にはうなずくしありませんでした。同じ質問を家内にするのと、こちらは「淡」との答

と聞いてみて、私も自分自身の今年の漢字を考えてみました。それは「備」です。備えることの大切さを痛感した年です。大きな地震があったので、災害に対する備えももちろんですが、この年になると、人生の最終コーナーというか、ゴールをどう迎えるかが直近の課題です。会社経営の部分でも、どのように幕を引くか、その瞬間にどう備えるかをいつも考えています。

人それぞれ、いろいろな出来事や思いのあったことと思います。今年を気持ちよく締め、明るい明日、来年を願う漢字でありたいものです。皆様の今年の漢字はいかがでしょう。